

学校教育目標：自ら学ぶ・友と学ぶ・仁科の里に学ぶ

【経営の理念】

「本気で取り組み常に一流をめざす」

めざす学校像 本気で取り組む授業ができる学校

【経営の概要】

《 学校づくりのねらい 》

「本気で取り組み常に一流をめざそう」を合言葉に、主体的な学習や友と学び合う学習を通して学ぶ楽しさを実感し、自ら学び、友と学び、地域に学ぶ子どもを育成する。

～将来「社会人としての自覚をもって積極的に生きる」

「ふるさとを愛し大切に作る心をもつ」子どもを育てる～

めざす子ども像

- ・進んで学ぼうとする子ども
- ・学び合い、高め合う喜びを感じる子ども
- ・ふるさとを知り、好きになる子ども

《 教育課題と重点 》

教育課題

主体的に学ぶ力、学び合う力の育成

（重点1・授業づくり）

主体的・対話的で深い学びを

- ・誰もが主役になれる授業をつくり、学び合いの楽しさを体感する。
- ・問題解決的な学習を基本とし、学力の定着と向上、体力向上を図る授業改善をする。

（重点2・心づくり）

子ども一人一人が主役になる学びの場を

- ・居場所があり、認め合える集団をつくる。
- ・特別な支援を必要とする児童が安心して学習に取り組める支援と指導の充実を図る。

《 教育システム 》

○学びのシステム

- ・ねらい・めあてを明確にする、学び合う場を設定する、振り返り学習内容を共有するといった学習スタイルを位置づけた授業づくりを進める。

○行事や地域素材を生かした学習

- ・行事や地域素材を生かして人間関係を育む学習の構築を図る。新学習指導要領との関連を明確にし、「この学校で学べてよかった」と感じられる授業を積み重ねる。

○保護者や地域に信頼され、共に歩む学校

- ・信州型コミュニティスクールとして、学校運営委員会を中心に学校づくりを進め、保護者、地域の方の学校支援ボランティアと共に児童の学習を支える。

○職員の研修システム

- ・教職員一人一人が持ち味や創造性を発揮すると共に、重点研究を軸に、協働し、磨き高め合って、子どもの心に響く教育を推進していく。
- ・自己の働き方を見直し、子どもと向き合う時間を確保しながらも健康に過ごせるよう業務改善を進める。